

平成23年度 小牧市外部評価実施方針

1. 主旨・目的

厳しい経済情勢が続く中、限られた財源をより効率的・効果的に活用し、多様化する住民ニーズや社会経済情勢の変化などに機動的かつ的確に対応していく必要がある。

このため、本市が実施している事業について、「実施する妥当性があるのか」、「市が実施主体となることがふさわしいのか」、「実施方法が効率的・効果的であるのか」等の評価視点を基に、外部の視点から議論をすることにより、評価の客観性や透明性を高めることや内部評価で気付かなかった点を指摘するという「評価視点の多角化」を図るとともに、職員の意識改革を図る。また、外部の視点により評価された結果(判定)等を参考に、今後の事業のあり方について再度検討し、資源の有効活用を図る。

2. 対象事業の選定

事業選定にあたっては、選定過程の公正性・透明性を確保する必要があることから、客観的に事業を選定するために基準を設定する。

【対象事業選定基準】

①	予算事業（事務事業評価対象事業）
②	市の裁量の余地がある事業
③	事業開始から3年以上経過した事業（平成19年度以前に開始した事業）
④	平成24年度以降も継続して実施する事業
⑤	外部の視点からの議論が有意義であると考えられる事業

※ただし、法令等に基づく義務的事業、特別会計繰出金、公営企業会計は除く

3. 対象事業数

- ① 今年度実施した事務事業評価シートを基に、上記基準に該当する対象事業をリストアップし、24事業（模擬外部評価4事業を含む）を選定する。

4. 実施日時及び会場

① 模擬外部評価

(1) 日時

A班 平成23年9月16日（金） 午後1時30分～午後4時00分

B班 平成23年9月21日（水） 午後1時30分～午後4時00分

(2) 会場

A班・B班ともに、南庁舎5階 大会議室

② 外部評価本番（行政評価市民公開フォーラム）

(1) 日時

平成23年10月8日（土） 午前10時～午後4時00分

平成23年10月9日（日） 午前10時～午後4時00分

(2) 会場

小牧勤労センター 大会議室（2階）・大研修室（3階）

5. 外部評価の主体

- ・外部評価委員 10人
(学識経験者2名、企業経営者2名、NPO関係者2名、公募市民4名)
※評価の際は、5人1組の2班体制で実施。
- ・コーディネーター 2人(コンサルタント)
※コーディネーターは、行政評価支援業務委託の受託者において配置し、班の円滑な進行や議論を引き出す調整役を担う。

6. 外部評価の進め方

- ・1班が1日5事業、2日間で10事業を評価する。
 - ・1事業当たり約40分程度
- (1) 事業説明(5分程度)
事務事業評価シート等を基に、事業所管課が説明をする。
※説明に際しては、職員3名程度(課長・補佐・担当係長)が出席する。
 - (2) 質疑(25分程度)
外部評価委員から所管課職員に対し、必要な事項について質問を行う。
 - (3) 外部評価の判定(10分程度)
小牧市が設定する外部評価判定区分・主な評価視点(別紙)に基づき、外部評価委員が判定を行うとともに、判定理由・改善案等を記載する。
また、必要に応じてコーディネーターが外部評価結果について解説をする。

7. 外部評価判定結果の活用

外部評価により導き出された判定は、市の最終決定でなく、議論された内容等を含め今後のあり方について十分に精査・検討を行ったうえで、市としての今後の方針を決定し、次年度以降の予算編成や事業計画への反映に努める。

【外部評価の流れ及び判定基準】

